東京ジャーミイ金曜日のホタバ

２０１2年5月18

聖なる三つの月とラガイプの夜

親愛なるムスリムの皆様。

アッラーの慈悲の海が沸き立ち、許しが豊かに降り注ぎ、恵みが最高潮となるこの神聖な三つの月の季節を私たちは迎えようとしています。来週の火曜日はラジャブ月の最初の日であり、木曜日から金曜日にかけての夜にラガイプの灯明祭を迎えます。クルアーンでアッラーは次のように仰せられています。「本当にアッラーの御許で、（１年の）月数は、１２ヶ月である。アッラーが天と地を創造された日（以来の）、かれの書巻のなか（の定め）である。その中４（ヶ月）が聖（月）である。それが正しい教えである。だからその聖月中にあなたがたは互いに不義をしてはならない。」（悔悟章３６）

親愛なるムスリムの皆様。崇高なるアッラーは、この神聖な日、夜に行われる崇拝行為に対して大きな褒賞を約束されておられます。この神聖な日、夜は信者が精神的な益を得るための大きなチャンスです。この日々を十分に活用することが必要です。過去に犯してしまった過ちや罪を放棄するための重要な機会であることを認識するべきです。そして過去を反省し、未来のために活力に満ちた形で自らを備えなければいけないのです。

ラガイブ、ミラージュ、ベラート、カディルの夜によって輝きを増しているこの日々を、礼拝、断食、サダカ、ザカートで飾りましょう。十分にドゥアーと悔悟を行いましょう。預言者さまはこの三つの月を迎えられた時には、次のようにドゥアーをされました。「アッラーよ。ラジャブ月とシャーバン月を祝福されたものとしてください。そして私たちをラマダーン月に至らせてください。」

アッラーは集団章で、悔悟やドゥアーが受け入れられることを吉報として知らされ、次のように仰せられています。「自分の魂に背いて過ちを犯したわがしもべたちに言え、「それでもアッラーの慈悲に対して絶望してはならない」アッラーは、本当に凡ての罪を赦される。かれは寛容にして慈悲深くあられる。」（集団章５３）

親愛なるムスリムの皆様。ラガイプの夜に特有の崇拝行為のやり方はありません。しかしこの夜には十分に悔悟を行い、カダーやナーフィラ（義務ではない）礼拝を行うべきです。そしてクルアーンを読み、聞き、預言者さまに祝福祈願を行わなければならないのです。私たち自身、家族、民族、そして全ての宗教上の兄弟たちのためにドゥアーし、孤児、身寄りのない子供たちの世話をし、貧困者を喜ばせなければなりません。両親や目上の人々のことを忘れず、彼らのためにドゥアーすべきです。こういった思いで皆さんの聖なる三つの月とラガイプの灯明祭を祝福し、統一や一体化のきっかけとなることをアッラーに祈願します。